

第 21 回霊長類医科学フォーラム(予定)

日時：令和 7 年 11 月 14 日（金）

場所：文部科学省研究交流センター

●開会

10:00～10:10 開会挨拶

中村 祐輔（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長）

●感染症研究 （演者紹介とパソコン接続 5 分、発表 20 分 質疑応答 10 分、合計 35 分）

座長：霊長類医科学研究センター

10:10～10:45 「宿主因子から迫る非結核性抗酸菌症の病態解明」

慶應義塾大学医学部 教授 南宮 湖 先生

10:45～11:20 「遺伝学的手法による APOBEC3 タンパク質と HIV-1 の相互作用解析」

熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 教授 池田 輝政 先生

11:20～11:55 「京都大学ヒト行動進化研究センターで出会ってきた感染症とその対策

～寄生虫からウイルス感染症まで実践を中心に～」

京都大学ヒト行動進化研究センター 技術主任 兼子 明久 先生

●昼食・企業展示

11:55～13:15

●特別講演

座長：保富 康宏（霊長類医科学研究センター・センター長）

13:15～14:15 「Asymptomatic CMV, inflammation, and aging in treated HIV」

Division of Experimental Medicine, University of California San Francisco, Professor,
Dr. Peter W. Hunt

●ポスターセッション、企業展示

14:15～14:45

●トピックス 2025 （演者紹介とパソコン接続 5 分、発表 20 分 質疑応答 10 分、合計 35 分）

座長：霊長類医科学研究センター

14:45～15:20 「環境と健康—予防からバイオマーカーによる疾患予測まで」

国立研究開発法人国立環境研究所 エコチル調査コアセンター 次長 中山 祥嗣 先生

15:20～15:55 「多機能アミノ酸輸送体から慢性炎症制御戦略に挑む」

東京大学大学院理学系研究科 教授 反町 典子 先生

15:55～16:30 「潜伏感染病原体による慢性疾患発症機序の解明」

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬デザイン研究センター
サブプロジェクトリーダー 飯島 則文 先生

●閉会

16:30～16:40 閉会挨拶

保富 康宏（霊長類医科学研究センター・センター長）